

伊勢市後援
皇學館大學史學會講演会

しゅんじょうぼうちょうげんのさんぐう

俊乗房重源の参宮

源平の戦乱のさなか焼け落ちた東大寺の復興を成し遂げた重源上人。
その背景には重源上人の伊勢の神宮に対する崇敬がありました。

『伊勢市史』中世編で述べられたこの重源上人の参宮について、
執筆を担当された多田實道先生に、その詳細をご講演いただきます。

講師 多田實道 本学文学部国史学科講師

日時 11月17日(木) 午後4時30分～6時

場所 本学231教室(2号館3階)

三重県伊勢市神田久志本町1704番地 皇學館大学内

※聴講無料。全席自由。事前のお申込は必要ございません。

※駐車場のご用意を致しかねますので、公共交通機関等をご利用ください。

* 講師紹介 *

多田實道(ただ・じつどう) 本学文学部国史学科講師

昭和45年、岐阜県生まれ。平成11年3月、本学大学院文学研究科博士課程国史学専攻満期退学。
三重県立高等学校教諭を経て、平成18年3月、愛知学院大学大学院博士前記課程宗教学仏教学専攻
修了。平成18年4月より現職、また神照山廣泰寺副住職。専門は日本中世史、禅宗史(曹洞宗史)。

《主な著書・論文等》

- ・『紀伊半島東部 曹洞宗史研究』(山喜房佛書林、平成20年3月)
- ・『『平家物語』巻第一「祇園精舎」を読む～国史学と仏教学の立場より～』
(皇學館大学講演叢書第122輯、皇學館大学出版部、平成21年9月)
- ・『伊勢市史』第2巻中世編(共著、伊勢市、平成23年3月)
- ・「鎌倉時代 九州における使節遵行制度の変遷について」
(上横手雅敏編『中世公武権力の構造と展開』所収、吉川弘文館、平成13年8月)
- ・「南北朝期の土岐氏守護代について」(『岐阜史学』第92号、岐阜史学会、平成9年7月)
- ・「寺院における「神前祈祷」―藤堂高虎と神宮近隣の寺院―」
(『神道史研究』第57巻第2号、神道史学会、平成21年10月)
ほか多数。

重源花押(『国史大辞典』より)

お問い合わせ 皇學館大学文学部国史学科研究室

電話 0596-22-6456